

第9回宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞

《宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞》

父の代に宮沢賢治から直接受けた農業指導を受け継いで、賢治の教えを現代に生かす農業実践を続けるとともに、石鳥谷地区における賢治の顕彰活動の中心となって、その精神の普及に長年取り組んできた業績に対して。

いたがき ひろし
板垣 寛 様

選考経過およびその理由について

宮沢賢治学会イーハトーブセンター
賞選考委員長 板垣 誠司

選考対象は8件。4件が二次選考に残り、1件に決定した。

板垣寛氏は、花巻市石鳥谷地区で先祖代々農業に携わっているが、父の板垣亮一氏が宮沢賢治から数回にわたって直々に農業指導を受けた縁を引き継いで、賢治の教えに従った肥料の配分や植栽方法を今に伝える農場を運営し、現在も毎年陸羽一三二号の栽培を続けている。

また、1994年の葛丸ダムにおける「葛丸」歌碑の建立や、2006年の「道の駅 石鳥谷」における「三月」詩碑の建立に際しては中心となって活動し、石鳥谷農業伝承館の設立や石鳥谷肥料相談所跡の説明板設置にも尽力した。

以上のような、賢治の精神を伝える農業実践や、長年にわたる賢治の顕彰活動は、宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞を贈呈するにふさわしい。

宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞 板垣 寛（いたがき ひろし） 様

1932年生まれ 92歳 岩手県花巻市在住

【学歴】

1957年3月	岩手大学農学部農学科卒業
---------	--------------

【職歴】

1983年8月	石鳥谷町議会議員に当選 以来5期連続20年間
1992年7月	有限会社板垣農場を設立

【業績】

- 「随筆集 葛丸の里に生きる（平成7年12月12日刊）
- 「賢治先生と石鳥谷の人々」（平成10年12月12日刊）
- 「巨大氷柱たろし滝」（平成24年9月15日刊）
- 「君はなぜ死んだのか」（平成26年8月15日刊）
- 「なぜ台湾人は世界一親日家なのか」（平成29年4月5日刊）
- 「続・賢治先生と石鳥谷の人々」（平成30年9月21日刊）

【活動】

- 1994年6月 宮沢賢治歌碑建立委員長として葛丸ダム湖畔に歌碑「葛丸」を建立
- 1994年7月 石鳥谷賢治の会初代会長に就任、以来毎年「賢治葛丸祭」を開催
- 2006年10月 石鳥谷「道の駅」に「三月」詩碑を建立、以来毎年「三月祭」を継続開催
- 2003年11月 石鳥谷町長より地方自治功労者として表彰を受ける
- 2010年3月 石鳥谷賢治の会会長を辞任、顧問に推挙された
- 2020年3月 旭日単光章を授与された

